

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	結石消失を期待した胆管ステント留置後の小さな総胆管結石症に対する超音波内視鏡評価の有用性と安全性
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	寺田修三
研究期間	院長許可後 2020年4月17日 ～ 2021年3月
対象者	2017年11月から2019年10月までに5mm以下の総胆管結石にたいして胆管ステント留置を行った患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	われわれは小さな総胆管結石に対しては、長期的な結石再発リスクの増加が懸念される乳頭切開を行うことなく、約半数の症例で胆管ステント留置のみで結石消失することを報告していますが、2回目のERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を必要とすることが問題でした。結石評価に超音波内視鏡を用いることで、ERCPを省略する治療指針を考案したためこの治療指針の有用性と安全性を調査することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> ・背景因子(年齢、性別、血液検査所見など)、 ・臨床データ(内視鏡レポート、画像検査結果など) ・転帰(結石再発の有無など)
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 消化器内科 寺田修三 代表 054-247-6111